

令和5年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	長野県市町村自治振興組合		代表者名	羽田 健一郎	
担当者部署	電子自治体推進部門		連絡先電話番号	026-232-4921	
担当者役職	次長	担当者氏名	金原 平八	連絡先E-mail	
住所	380-0871 長野県長野市大字加茂北1 4 3-8				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	前田 みゆき
評価	大変よい
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	「自治体システム標準化と標準化後の自治体経営について」とのタイトルで、標準化を進めなければいけないかの理由から、現状の対応（文字同定支援ツールの開発・提供）、データが標準化されることのメリット、標準化後のデータの利活用やフロントヤードの改革等わかりやすくご講演いただいたほか、その後の参加団体の課題に対する意見交換においても国の推進状況、最新情報、各省庁のしがらみ等について情報提供いただき、各団体の今後の事業推進にとっての指針を示していただきました。会議終了後の懇親会にもご参加いただき、本音のお話もお聞きすることができた。
アドバイザーへの要望事項	今後、標準化の推進について新たな動きがあったら、継続的に情報提供いただけるとありがたい。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

3-1. 対応日・時間	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	期日・支援内容の変更あり		
	令和5年11月30日	講演(実地)	無		
	実施した派遣日	実施した支援内容	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
			13時30分	16時45分	10
			活動時間（分）	185	
3-2. 派遣場所	会場名	山梨県自治会館	最寄駅	南甲府駅（JR身延線）	
	所在地	〒400-8587 山梨県甲府市蓬沢1-15-35	最寄駅からの交通手段	徒歩またはタクシー	

4. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可	https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/
------	---------------------------	---

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	人数
	情報システム共同化推進団体連絡会議に参加する9団体の職員	26 人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果	事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	
	参加10団体とも標準化に向けての対応に苦慮している状況であるが、講演内容のアンケートを行ったところ、標準化対応が間に合うのか、ガバメントクラウド接続回線や運用補助者などの経費負担がどうなるのか、共同化の意義（自治体クラウド）はどうなるのか等直近の課題も多々ある中で、「標準化移行後のあるべき自治体経営について」を希望する団体が多かった。多くの団体が直近の課題も感じつつ、未来に向けての気構えや準備を進める必要もあることを認識している状況。	
	支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	
	各団体が標準化移行後の世界を見据え、各団体の構成団体における標準化移行を予定通り完了させる。経費増、標準準拠システムの品質、導入初期の事務処理手順不慣れによる混乱等、各種の不安要素がある中で、標準化・共通化の最終目標に向けてどのような準備をすべきなのかの講演、併せて各団体が予定通り確実に標準化移行をするため、どのようなことで悩んでいるかの意見交換を行う場において、国の考え方や他自治体の事例などを踏まえた助言をいただき、各団体の今後の事業推進の糧とする。	
	アドバイザーに支援を受けた内容（具体的にご記入下さい）	
	1) 講演：標準化を進めるべき理由、国の対応状況（文字同定支援ツールの開発・提供）、標準化後のデータの利活用やフロントヤードの改革等について 2) 情報交換：参加団体の課題に対する意見交換においても国の推進状況、最新情報、各省庁のしがらみ等について情報提供いただき、各団体の今後の事業推進にとっての指針を示していただいた。	

支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	具体的な解決内容を明確に示すことは難しいが、国も苦勞して全国自治体の進捗状況を確認したり、要望を聞き取り対応している状況の中で、移行経費の基金積み増し等標準化移行を推進していることや、標準化移行後にめざすものが見えてきた。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	運用費に関する国の補助に関する検討状況	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 情報システム共同化推進団体連絡会議に参加する団体それぞれが設立経緯や抱える団体数の違い等の個別の事情がある中で、一律にアンケートをしても今後の事業推進に有意な回答が得られないと考えたため	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	④予算以外で、今後取組む事項がある
事業の最終的な目指す姿	国が定める期限である令和7年度末までに、予算内で業務の混乱を最小限度に抑えて標準化移行を完了すること。	

なお<その他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

